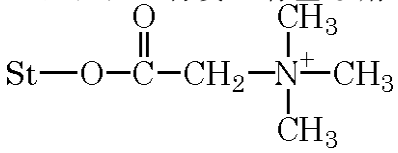
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公表番号】特表2004-504338(P2004-504338A)
【公表日】平成16年2月12日(2004.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2004-006
【出願番号】特願2002-513435(P2002-513435)
【国際特許分類第７版】
Ａ６１Ｋ　7/00
Ａ６１Ｋ　7/06
Ａ６１Ｋ　7/075
Ａ６１Ｋ　7/08
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｊ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｂ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｃ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｄ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｅ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｆ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｇ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｈ
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｋ
Ａ６１Ｋ　7/06
Ａ６１Ｋ　7/075
Ａ６１Ｋ　7/08

【手続補正書】
【提出日】平成15年5月12日(2003.5.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
組成物が少なくとも一つの以下の式に対応するデンプンベタイネート及び少なくとも一つのケラチン物質に有益な剤を含むことを特徴とする、ケラチン物質の化粧処置用組成物：



式中Ｓｔはデンプンポリマー構造を表す。
【請求項２】
デンプンをトウモロコシ、ジャガイモ、カラスムギ、コメ、タピオカ、モロコシ、オオムギ又はコムギから誘導することを特徴とする、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
ケラチン物質に有益な剤を以下から選択することを特徴とする、請求項１又は２に記載の組成物：
（１）加水分解したか又は加水分解していない、変性したか又は変性していないサッカリ

ド、オリゴ糖類、多糖類、
（２）加水分解したか又は加水分解していない、変性したか又は変性していないアミノ酸、オリゴペプチド、ペプチド、タンパク質、
（３）分岐したか又は分岐していない脂肪酸及びアルコール、
（４）動物性、植物性又は無機ワックス、
（５）セラミド及びシュードセラミド、
（６）ヒドロキシル化した有機酸、
（７）ＵＶ－遮蔽剤、
（８）抗酸化剤及び抗フリーラジカル剤、
（９）キレート化剤、
（１０）抗ふけ剤、
（１１）脂漏制御剤、
（１２）鎮静剤、
（１３）カチオン性界面活性剤、
（１４）カチオン性及び両性ポリマー、
（１５）有機変性したか又は有機変性していないシリコーン、
（１６）鉱油、植物油又は動物油、
（１７）ポリイソブテン及びポリ（α－オレフィン）、
（１８）エステル、
（１９）溶解性又は分散性のアニオン性ポリマー、
（２０）溶解性又は分散性のノニオン性ポリマー
及びこれらの混合物。
【請求項４】
組成物がさらにアニオン性、ノニオン性、両性及び／又は双性イオン性界面活性剤、又はこれらの混合物を、組成物の全質量に対して総量で３質量％より少なく含むことを特徴とする、請求項１ないし３のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項５】
組成物がデンプンベタイネートを組成物の全質量に対して０．０１質量％～２０質量％、及びケラチン物質に有益な剤を０．０１質量％～３０質量％の量で含むことを特徴とする、請求項１ないし４のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項６】
組成物がさらに以下のような添加物を含むことを特徴とする、請求項１ないし５のいずれか１項に記載の組成物：増粘剤、真珠光沢剤、不透明化剤、有機溶媒、芳香剤、着色剤、無機又は有機粒子、保存剤、ｐＨ－安定化剤。